

令和2年9月16日

保護者の皆様

コロポ日本人学校  
校長 大森 伸

## 令和2年度 第1回 学校評価アンケート結果について

保護者の皆様におかれましてはご健勝のことと存じます。日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

さて、7月に実施しました今年度第1回目の学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。皆様からのご意見と教職員が行った学校評価結果から学校の課題を見つけ、その対応策等について検討させていただきました。

下記は、アンケート結果と今後の学校運営の改善策等を掲載いたしましたので、ご一読いただき、ご理解とご協力をお願いいたします。

4:よくあてはまる 3:ほぼあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:全くあてはまらない ? :よくわからない

No.	評 価 内 容	評 価					平 均	
		4	3	2	1	?	保護者	教 師
1	お子さんは誰にでも元気にあいさつしている。	2	4	2	0	0	3.00	2.60
2	お子さんは人に言われなくても自分から行動できるようになった。	1	6	1	0	0	3.00	2.50
3	お子さんは学習だけでなく、何にでも一生懸命取り組んでいる。	2	6	0	0	0	3.25	2.80
4	学校は、教育目標や経営方針をわかりやすく伝えている。	5	2	0	0	0	3.71	3.50
5	学校は、ホームページや各種たより等で、子供たちの様子や学校の教育活動を伝えている。	7	0	0	0	0	4.00	3.83
6	学校は保護者アンケート等の結果を受け、迅速に対応している。	5	2	0	0	0	3.71	3.50
7	学校は、学習に適した教室環境、施設設備の整備。充実に努めている。	5	2	0	0	0	3.71	3.33
8	学校は、事故防止・感染予防対策等、子供たちの安全確保に十分努めている。	6	1	0	0	0	3.86	3.83
9	お子さんは学校生活を楽しいと感じている(言っている)。	5	2	0	0	0	3.71	3.60
10	学校は、個に応じた指導を行い、基礎基本の定着に努めている。	6	1	0	0	0	3.86	3.67
11	学校は、休校時の学習支援等、迅速かつ丁寧に対応している。	6	1	0	0	0	3.86	3.67
12	お子さんは授業がわかりやすいと感じている(言っている)。	5	3	0	0	0	3.63	3.40
13	学校は、新学習指導要領に準拠した教育を推進している。	2	3	0	0	2	3.40	3.50
14	学校は、英語力を高める教育の充実に努めている。	2	3	1	0	1	3.17	3.00
15	学校は、日本文化の継承や異文化理解の教育を行う等、国際理解教育の充実に努めている。	2	3	1	0	1	3.17	2.80
16	学校は、子供たちの問題に迅速かつ丁寧に対応している。	6	2	0	0	0	3.75	3.60
17	学校は、教育相談やアンケートを通して、子供たちの悩みを把握し、適切に対応している。	5	3	0	0	0	3.63	3.50
18	学校は、保護者と連携を図り、子供たちの指導に生かしている。	5	2	0	0	0	3.71	3.67
19	今年度からオンラインによる学校の連絡等を行っているが、プリントによる連絡等と比べて、利用しやすくなった。	3	3	0	0	1	3.50	3.67
20	<p>【ご意見・ご要望等】</p> <p>※兄弟のいるご家庭は、個々のお子さんについて回答している項目があるので、集計数が多くなっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校で生き物を飼育したり、植物を育てる活動を取り入れていただけるとありがたいです。(本人の要望として)</li> <li>・学校に登校できずに残念です。人数減少、コロナの影響で昨年以上に、イベントが開催できず、子供たちの楽しみが減ってしまいかわいそうに思います。このような状況で、安全かつ楽しい学校生活をおくれるよう、学校、保護者と連携していきたいです。</li> </ul>							

## 【評価結果から見える課題】

保護者アンケート結果では、「3」未満を示す項目がなく、学校の教育活動を高く評価していただいていることに感謝申し上げます。しかし、教職員の結果では4項目について「3」未満(赤字)で、保護者の皆様を感じ方と教師側の感じ方に多少のギャップがあることが分かりました。また、1学期が始まってわずか一ヶ月しか経過していないため、評価が難しかったことも評価が高くなったことと関係しているかもしれません。

そのような状況ですが、今回平均評価「3」を下回った4項目については、下記の対応策を講じていきます。

### 1 あいさつについて(保護者評価:3.0 教職員評価:2.6)

子供たちは、こちらからあいさつするとしっかりあいさつを返すことはできています。しかし、本校が目指しているあいさつは、「自分から」「元気に」「笑顔で」をキーワードにしています。これを踏まえて、

- ① 学校生活オリエンテーションで、「自分から！を大切に。」を強調し、子供たちに啓発していきます。
- ② 「なぜあいさつするのか」等、あいさつの大切さをきちんと理解し、実践できるようにするために、道徳の時間で寸劇を行うなど体験的な活動を取り入れていきます。

### 2 感じて行動について(保護者評価:3.0 教職員評価:2.5)

- ① 学校や学級で失敗してもよい雰囲気づくりをします。「教室はまちがうところだ(蒔田 晋治)→「学校はまちがうところだ」という考えを教師が共通理解し、子供たちの活動をフォローしていきます。
- ② 子供自身に決断する場を与え、「あなたならどうする？」→「それにどう取り組んだのか。」という結果だけでなく、取り組んだ過程も評価することで、子供たちに自信をもたせるようにします。

### 3 文武両道について(保護者評価:3.25 教職員評価:2.8)

- ① 文武両道とは、勉強や運動等、苦手なことも含めて何にでも一生懸命取り組む姿勢と捉えています。その姿勢をもたせるためには目標意識をもてるようにすることが大切です。例えばキャンディアンダンスにしても、何のために学ぶのか(目的)、何ができるようにするのか(ゴール・目標)が見えるようにするなど、頑張りたいと思えるような工夫をしていきます。

### 15 国際理解教育の充実について

1学期は、教科の学習が中心だったため、国際理解教育に係る授業はほとんどできませんでした。そのこともあり、教職員の評価も低くなったと思われます。2学期は以下の活動を行い、日本文化の継承や異文化理解等をはじめとする国際理解教育に力を入れていきます。

- ① IAの授業を通して、それぞれの教師の取組により、自分理解、他者理解、自国・自文化理解、他国・異文化理解等の心を育てていきます。
- ② キャンディアンダンスの授業で、プティ先生からスリランカの文化や歴史の紹介、キャンディアンダンスの説明等をしてもらう機会を設け、子供たちにスリランカについてより親しみを感じられるようにしていきます。

## 【保護者アンケートの意見・要望に対する回答】

### 1 学校で生き物を飼育したり、植物を育てる活動を取り入れていただけるとありがたいです。(本人の要望として)

#### 【回答】

世界的に口蹄疫の問題が起きてから、日本の学校でも動物の飼育(特に哺乳類)を行わなくなってきている傾向があります。また、長期休業中等、生き物の面倒を見るのが誰なのかも問題になっているところがあります。

本校でも、生き物を飼うにあたっては、場所、飼育担当、動物の疫病等、様々な課題があるため、動物は金魚や熱帯魚程度にとどめています。ただ植物の栽培については、低学年の生活科や中学年以上の理科等で、取り組んできています。

今後の具体的対応としては、以下のとおりです。

- ① 屋上の花壇を整備したので、個人に割り当てるなどして作物等を育てるなどの取組をしていきます。
- ② 金魚のえさやりについて、高学年に働きかけ、今後どうするのか話し合わせ、自分たちで生き物を育てる意義をもたせるようにしていきます。

### 2 学校に登校できずに残念です。人数減少、コロナの影響で昨年以上に、イベントが開催できず、子供たちの楽しみが減ってしまいかわいそうに思います。このような状況で、安全かつ楽しい学校生活をおくれるよう、学校、保護者と連携していきたいです。

#### 【回答】

こちらは、ご意見・ご要望というより、子供たちのために学校、保護者が連携していきたいという。保護者の方の温かい気持ちが込められたメッセージだと認識しています。大変心強いお言葉に感謝いたします。これこそ、昨年度から経営方針に掲げている学校、保護者、地域(日本人会)が協力し合い子供たちを育てていく「協育」につながるものだと思います。

そのためにも学校としては、子供たちの教育に全力で取り組んでいくことと、学校から可能な限りの情報発信をして、保護者や日本人会の皆様のご協力をいただきたいと思います。

今後とも学校の教育活動に忌憚のないご意見をいただくとともにご理解とご協力をお願いします。